

読んだら読ませたい小さな名著

ウエスレアン・ホーリネス教団淀橋教会主管牧師

峯野龍弘

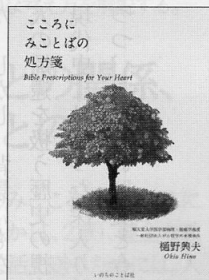
本書は、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等で今日盛んに脚光を浴びている「がん哲学外来」や「メデイカル・カフェ」の創始者である順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授樋野興夫先生の書かれた珠玉の一書です。この書は「読んだら読ませたい小さな名著」とでも呼びたい書物です。

ちなみに「がん哲学外来」とは、いわゆるがんの診断や治療を行うのではなく、がん患者やその家族と対話して、その心に慰めや平安を、さらには残された生涯を有意義に生き抜くための希望と力を賦与する「ここに、しみこぼの処方箋」を出すところからです。その「カフェ」とは、さらに複数の関係者が講師もしくはファシリテーターの下に集い、お茶を飲みながら親しく対話しながら、その対話を通じて自ら「ここに、しみこぼの処方箋」を見つけ出していく幸いな場です。

さて、本書を手にして読み進めるうちに、読者の皆さんはどなたも、そこに「ここに、しみこぼの処方箋」を見つけ出すことができるでしょう。平易かつ簡明で、しか

「ここにみこぼの処方箋
—世界に広がる「がん哲学」—

樋野興夫 著



も優しく温かい樋野先生の語りかけるような絶妙な筆致を通して、いつしか病から来る苦悩や恐怖、不安や悲しみ等から心が解き放たれ、命の尊厳や生きる目的、死することの意義と価値、人間関係の美しいあり方や個々の人間存在の尊い役割等々に、心の目が開かれ、その靈魂に深い慰めと安息を与えられることでしょう。

そこには聖書のみことばと、樋野先生の解き明かす珠玉のような一語一語を通して、人生への啓発と気づき、領きと納得、示唆とヒントを手にする事ができるからです。とりわけクリスチャンの皆さんにとっては、聖書のみことばの中に、こんなにも素晴らしい人生の処方箋が、的確かつ具体的に満載されていることに、大きな驚きと喜びをもって気づき直すのではないのでしょうか。これまた本書の著者樋野興夫先生の珠玉の筆致の素晴らしさと魅力といえます。

そこで皆さんにもぜひ「読んだら読ませたい小さな名著」のご愛読をお勧めします。

B6変形判 1,000円+税
いのちのことば社